

私と普及員との初めての出会いは結婚式でした。夫が独身時代によく普及所へ行っており、普及員から、スイカの裏作りに切り花栽培を勧められ栽培を始めていました。そのつながりが深く、私達の結婚式に出席してくださったのです。その後、畑に来られると私にも声をかけてくださいました。ですから私は、農業改良普及所を大変身近に感じながら就農し、今に至っています。そして現在、切り花はスイカと共に我が家の経営の柱になっています。



平成11年。普及員の働きで、旧大栄町で10組の夫婦が家族経営協定を締結しました。私達夫婦もその一組です。私はその頃、子育てと農作業のバランスがうまくとれず、協定に大変興味を持っていました。夫の理解もあってスムーズに締結に至りました。それから私も経営に参画することになったのですが、農業の知識がなく自信がありません。そこへまた普及員が救いの手を差し伸べてくださいました。女性を集めて農業基礎の勉強をしたいという声に答えてくださったのです。そして女性後継者グループ「スマイルサークル」が誕生しました。普及員が先生になってくださった夜の2時間の勉強会は、知らない事を知る楽しさで時間をオーバーする事もしばしば。そのおかげで日々の農作業は格段と楽しさを増していきました。大変感謝しております。

私はスマイルサークルの活動をきっかけにして、知事とのパネルディスカッションや、女性農業者の代表として男女共同参画の審議会を経験するなど、普及員からの「やってみない？きっとできる！」という言葉のおかげで仕事以外の場所でも、自信をつけていくことができました。

平成24年には第2期「スマイルサークル」を立ち上げ、現在も大栄スイカを栽培する若い女性後継者が、普及員に教わって勉強会をしています。中には子どもを連れて学ぶ女性もいます。また、我が家の後継者の娘も加入し二代に渡ってお世話になっています。仕事が面白くなると生活が楽しくなり、母親の生き生きした姿は家族の笑顔を増やし、次世代の子ども達にも農業の楽しさが伝わると確信しています。スマイルサークルの活動は勉強だけでは留まりません。県の助成事業のおかげで「おんどとり」を各自が設置して温度データを取得し、そのデータは大栄スイカ協議会でも使われています。また、スイカのつる引き作業で地面に座る時に使用する、ヒップガード「ええあんばい」を開発しました。その紹介も含めて、農作業軽減グッズとお洒落な農作業着を「北栄町アグリフォーラム」で紹介しました。そのどれもが普及員と一緒に、根気強く手間暇をかけることで、納得する形にしていくことができました。この「スマイルサークル」の活動とメンバーの笑顔に確信をもち、平成30年には、県内の農業女子をつなぐ「とっとり農業女子ネットワーク（キラリ☆鳥取めぐりジェンヌ）」を設立しました。立ち上げの1年前から各普及所の生活担当の普及員が窓口になってくださり、声かけやとりまとめをしてくださいました。女性は業種や作目に関係なくつながり、つながることで見聞を広めパワーアップしていきます。メンバーには、「この会を楽しむためにも自主的に参画しよう！」と声をかけています。しかし点在している私達だけでは難しい部分があります。県内各地のメンバーを普及員がつなげてくださり、また私達の思いを形にしたい時にはヒントや情報をくださって、心強く思っています。いつも私達のそばで力を貸してくださり、大変感謝しております。

27年前、農業を全く知らずに他県から嫁いだ私が、今こうして活動できる事は、普及員の力が大きいと感じています。今まで携わってくださった沢山の普及員の思いを、私も共に若い後継者に返していこうと思っています。これからもどうぞよろしく願います。